

新年のごあいさつ



対馬市長

財部 能成



新年明けましておめでとう
ございます。

御家族皆様が元気な姿で一
同に会し、お喜びのこととお
察し申し上げます。

旧年中も市民の皆様にお安
心感を与えるには至らず大変ご
心配をおかけしました。

特に、全国的に自治体の
「消滅」という言葉が飛び交
い、私達自治体にとって衝撃
的な発表でありました。皆様
も驚かれたはずです。

日本創成会議は政策的な打
開策がないまま推移した場合
との前提条件で、2040年
に消滅可能性自治体は全国で
半数以上と発表しました。

若い女性が都市部へと流れ、
そこへ都市部での子育て環境
の悪化に起因する少子化問題
が重なり、地方のみならず都
心部でも消滅可能性を指摘さ
れました。

発表では、次世代を産む若
い女性が減少するのが直接的
要因との見通しでした。

この職を市民から託され、
過疎化から脱するために様々
な事に着手してまいりました。
「若年女性」という視点から
の解析はしてませんが、特に
若者達の新たな就労環境構築
に取り組んできました。

そういう中、昨年の秋以降
は「地方創生」という言葉が
頻繁に使われました。

来島された国の職員は、「対
馬が、自然も歴史も文化も産
物もこれほどの潜在能力を有
している島とは認識してな
かった」「今後の対馬づくり
に協力したい」省庁レベルで
応援する態勢をつくるため、
勉強会を開くと約束されました。
ところで、私は一貫して、
地域資源に着目し、他地域
問いかけてきました。

と差別化できる資源もあるは
ずです。

そのような中、昨年出会っ
た哲学者の中沢新一氏とは、
「日本の原型が対馬に残って
いる」との考えで意気投合し
ました。

氏の説は「海民」が東南ア
ジアから北上し、中国、朝鮮
半島、日本へと移動した。し
かし、稲作文化がもたらされ、
海民文化が変貌した。一定区
域での耕作により、移動範囲
が縮小し、海民本来の思考を
萎縮させた。耕作地に乏し
かったために、対馬は海民文
化を継承できた。

魏志倭人伝のくだりから、
倭の海民は好んで水中に潜水
魚貝を捕らえることあり、その
海民文化を受け継いでいる対
馬だから、数多くの原始的
神々や風習が至る所に残って
いる。「東アジアにおいて海

民文化の生き残りは対馬」が
一致点でした。

また休暇をもらい、「シル
クロード」にいまいました。中
国は広すぎて、また多様すぎ
て国内的には問題があります。
その最たる地域が「新疆ウ
イグル自治区」であり、その
東隣りの甘肅省敦煌に入り、
仏像が築造された莫高窟等
を見学しました。

そして新疆ウイグル自治
区に入り、気づいたのは資源
でした。炎を吹き出す採掘井戸
や地下の石油だまりを圧縮す
るポンプ。風車が何百基も設
置された風力発電。

天は過酷な自然だけではな
く、石油などの地下資源を
降りに注いでいました。

資源を活用するには、「人
材」と「資本」が必要です。
ここに集めて活用すれば、世
界中が豊かになる。しかし、
世情不安では誰も資本を投下
しない。

私達は悩まされ続けている
島ゆえのハンデの象徴は、
「石油価格」です。長期的に
は日本は油の消費は減少して
いくが、かたや新興国は産業
を興すため油が必要です。地
球規模では需要が減ることは
なく、石油価格は高騰し続け

るだろうと見通されています。
就任以来「自然エネルギー
で自立できる島づくり」を目
指してきました。昨夏に電気
事業者より不安定な電力の購
入を一時的に保留すると発表
表があり、自立できる島のた
めの自然エネルギー活用はど
うあるべきかと再度考えま
した。

自然エネルギーの電気が生
み出すものに「水素」があ
ります。

今、自動車業界は水素と酸
素を化学反応させて電気をつ
くる「燃料電池」搭載のクル
マづくりで没頭しています。

対馬周辺海域は風況がよい。
これも資源。島でつくり出す
「水素」は価格変動はなく産
油国の事情に左右されません。

水素は自動車に限らず、船
にも、火力発電所の燃料にも
使えるそうです。

対馬の自然エネルギーの賦
存量は膨大です。しかし、対馬
も「人材」と「資本」が不足し
ています。この対馬を守り抜
くためには、長期的な視野の
施策展開をにらんだ資本投資
を促す計画や気概が必要です。
また、島の内外で対馬に愛
着を持つて愛を叫ぶ若者が増
えていることに市民の皆様も
お気づきだと思います。

『対馬チカラ』は3つのチカラがあります。「足下に泉あり」の言葉どおり対馬の資源『底チカラ』に着目しましょう。そして『市民チカラ』によるまちづくりを行います。そして不足する部分を島外の知恵や資本にも助

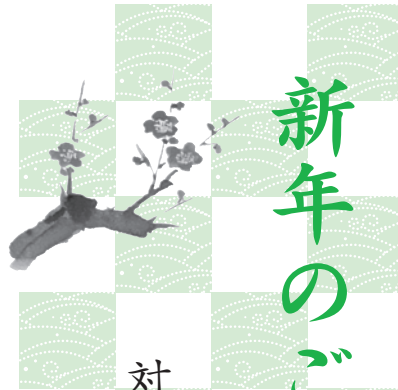
けてもらいましょう、まさに3つめの『広がるチカラ』です。2020年という世界の注目が集中する東京五輪の年までの5年間で地方の生き残り戦略をかけて走らねばならない時期です。

私は昨年同様走り続けます

新年のごあいさつ

対馬市議会議長

堀江 政武



新年あけましておめでとうございませう。

市民の皆様におかれましては、希望に満ちた平成27年の新春をご家族おそろいでお迎えのことと心からお慶び申し上げます。年頭にあたり市議会を代表して、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

市民の皆様には、日ごろから市政及び議会活動に対して深いご理解と温かいご支援を賜り心より厚くお礼申し上げます。

私たち、対馬市議会も、年

が、市民の皆様も対馬を俯瞰した視点で行動して頂けましよう。お願いし、共に輝かしい1年だったと年末を迎えられよう。またあの年の自分の歩みが10年後の今を作ったと振り返られるように共に頑張つてまいりましょう。



に4回の定例会及び臨時会を開催し、提案された議案について、慎重に審査を進め、市長部局と一体になって、対馬市の活性化のための議論を重ね活動を続けているところでございます。又、3つの常任委員会についても各地域の実情を細かく理解すべく、自ら足を運んで所管事務調査を精力的に実施しているところであります。

さて、昨年は、消費増税に端を発しました衆議院の解散、ソチオリンピック、広く海外

に目を向けますとロシアへのクリミア編入やイスラム国の樹立宣言等昨年1年間だけでも多くの出来事が生じております。

このような現状を踏まえ、対馬市議会におきましても、2つの特別委員会を設置し、特に国境離島活性化対策特別委員会につきましては昨年の2月、又、11月には県下離島三市二町の議長・委員長で国會議員並びに省庁への要望活動を実施いたしました。今後につきましても更なる活動の活発化を期待しているところであります。併せて、国県道路等整備促進特別委員会につきましても、昨年5月には県知事要望を実施し、島の活性化の基盤である、国県道路・離島航路の整備に向け積極的に取り組みを行っているところであります。

また、対馬市の現状を顧みますと、昨年は市制施行10周年ということで様々な記念行事が行われ、今年の5月には、新対馬病院（仮称）の開院が予定されており、一つの区切りとして、対馬市が新たな一歩を踏み出したものと考えております。しかしながら、基幹産業である水産業は、総体的な水揚げ量の減少と魚価の低迷、燃油等の高止まりにより壊滅的な打撃を受けており、一次産業についてはなかなか新たな方向性が見いだせないのが現状です。有効求人倍率は一昨年末より、0.7から0.8と比較的高い数値を示しておりますが、長年の雇用環境の悪化により過疎化の進行をくい止める所まで至っていない状況であります。一方、観光業に目を向けますと、韓国を中心とした外国人による観光客数は20万人を越え、島内においても大きな活性化のエンジンになるのではと期待を寄せているところですが、国境離島であるが故の課題も多く、昨年の小笠原諸島周辺海域における赤珊瑚の密漁、又、この対馬に於いても再び発生した市指定文化財である仏像の盗難等、いずれも人口減少による国境監視の限界が一因であるとも感じられています。

私は、離島の活性化、人が住み続けることが国土防衛・国境防衛であることを広く訴え、離島の活性化を主眼においた「国境離島特別措置法」（仮称）の法案制定に向け、市議会・市長部局と一体となり、国・県への要望活動を強めてまいりたいと考えております。

私も対馬市議会といたしましては、より豊かな住みよい故郷づくりを目指して、今後さらなる創意工夫を重ね、市民皆様方のご期待にこたえるよう決意を新たにしておりますので、どうか本年も相変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。

終わりに皆様のご健勝とご繁栄を心よりお祈りいたしまして、年頭のごあいさついたします。